

2歳6か月ごろの発達のめやす

たくさん身体を動かすことが楽しいよ

両足でその場でジャンプしたり、段差から飛び下りたりができるようになります。お友達がしているのを見て、色々なことに挑戦するようになります。

☆行動範囲が広がっていきます。安全面には十分に配慮し、お子さんの挑戦を認め、励まし、できたことをほめてあげましょう。



見通しをもってゆったりとした気持ちで

なんでも「自分で!」「いや!」など、親にとっては困った行動が目立ち始めます。こういった行動はお子さんがわざと大人を困らせようとしていることではありません。

「自分—あなた」「大きい—小さい」と2つのモノを比べる力が育ちます。「きれい」「はやい」など形容詞も増えていきます。その一方で、「～したいけれど、～できない」という気持ちの揺れがでてきます。

お子さんは「言われていることは分かるけれど、いやだな」と気持ちが揺れています。
→大人にとってはイライラすることもたくさんあると思いますが、お子さんが**気持ちを立て直す練習**と捉え、少し待ってあげましょう。また、お子さんの気持ちを「～したいのね」などと受け止め、次の見通しとなる「お家に帰って～しよう」などと伝えたりと、できるだけゆったりとした気持ちで関わりましょう。
→日頃の生活のなかで、たとえば「大きい〇〇と小さい〇〇、どっちにする?」と見比べさせて選ばせるなど、**自分で選択させるような関わり**も大切にしましょう。



「ごっこ遊び」を中心に色々な遊びを一緒に楽しみましょう

お絵描きでは、大人がぐるぐるとした円を描いたり横線を引いたりすると真似して描くことができるようになります。また、描いた絵に「ママ」と意味づけるようになります。

ままごとや砂場などでも、ケーキ屋さんになりきって砂でケーキを作ったりと、ある物を別の物に見立てたり、自分自身も何かの役割になって遊んだりするようになり、大人に相手になってもらって遊ぶことも楽しめます。

また、積木などを高く積んだり、ブロックを長くつなげたりと少し先の目的を持って物を扱うようにもなります。

→紙や粘土、砂など形状を変えやすい物を取り入れ、大人が遊んで見せてみましょう。

簡単なストーリーのある絵本を読み聞かせるのもお子さんの想像力やことばの力を育てます。



2歳6か月児健診では、お絵描きや積木、絵カードで遊びながら、お子さんのことばの力や物を見立てる力、やり取りの力、目的を持って取り組む力などを一緒に確認していきましょう。

乳幼児期の発達は、個人差がとても大きいです。一つのことのできないからといって焦らないでください。健診では、積木などのおもちゃを使って遊びながら、お子さんの全体的な発達について、お家の方と一緒に確認していきます。心配なことがあれば、いつでもご相談くださいね。